

F 2 2 に2万匹のミツバチ群がる、飛行できず

2016.08.13 Sat posted at 11:20 JST

[PR]

【IBMのSDNソリューション】ネットワークの仮想化で新たなビジネス創出を支援！

クラウド会計ソフトが、いま使われている--パッケージからクラウドに移行した方がいい理由はこれだ！



F 2 2 に2万匹のミツバチが群がった

(CNN) 米空軍の最新鋭ステルス戦闘機「F 2 2 ラプター」の排気ノズルに大量のミツバチが群がっているのが発見され、一時的に地上待機を余儀なくされていたことが13日までに分かった。

このF 2 2は米空軍第192航空団に所属する機体。6月11日、バージニア州のラングレー・ユースティス統合基地で排気ノズルから2万匹近いミツバチが垂れ下がっているのが整備員らによって発見され、一時的に地上待機を余儀なくされた。

ミツバチが絶滅の危機にあることを知った整備員らは地元の養蜂家アンディ・ウエストリッチ氏に連絡を取り、対策を依頼。米海軍の退役軍人でもある同氏が吸引機を使って大きなバケツ数個に無事ミツバチを移した。

ウエストリッチ氏がこれを自宅に持って帰り重さを量ると、群れ全体で約3.6キロ近くあったという。ミツバチはその後、新しいすみかである地元のビール製造施設に送られた。